

生善院觀音堂(球磨郡水上村)

江戸前期(1625年)に、人吉藩で起きた化け猫騒動に因み、その怨霊を祀るために人吉藩主相良氏によって創建された/桁行三間、梁間三間/寄棟造の茅葺/二軒/向拝一間が付く/厨子や須弥壇をはじめ、内外とも全て漆仕上げとし、彫刻などに極彩色や金箔を施した豪華な造りとなっている



しょうぜんいん つうしょう ねこ てら 生善院(通称 猫寺)

猫寺伝説

天正十年(一五八二)、相良藩への謀反を企てているという
嘘の訴えにより、湯山佐渡守宗昌とその弟で普門寺の盛誉法印が
殺されることになった。その話を聞いた宗昌は日向へ逃げたが、
寺に残った法印は殺され、寺も焼かれてしまう。

無実でありながらわが子を殺された法印の母、玖月善女は愛猫
玉垂を連れて市房神社に参籠し、自分の指を噛み切ってその
血を神像に塗りつけ、玉垂にもなめさせて、末代までも怨霊に
なって相良藩にたたるように言いふくめ、茂間が崎というところに
身を投げて死んでしまう。すると、相良藩では、猫の怨霊が美女や
夜叉に化けて藩主の枕許に立つなど、奇々怪々なことが次々に
起きた。

藩では靈をしずめるために普門寺跡に千光山生善院と名づけて
寺を建立。現在の本堂も觀音堂も、その時に建てられたものだ。
法印の命日である三月一六日に、藩民に市房神社と生善院に
参詣するように命じ、藩主自身もそうしたので、怨霊のたたりは
しづまったと伝えられている。

In the 10th year of Ten Fumonji Temple were faced to raise a rebellion against the lord. Houin remained at the Kugetsu Zennyo, who had Shrine for prayer together. The blood on the God and curse upon the Sagara Clan herself. This triggered the spirit of cat changing into a lord. At the clan, in order to Seizenin on the site of this period. On March 16 to make a pilgrimage to it is said that the ghost

텐쇼(天正)10년(1582년), 마사(湯山佐渡守宗昌)와 그들은 무네마사는 휴가로 도자식이 죽임을 당하자 혼령(市房神社)로 들어가 자신의 되어 사가라번(藩)에 복수를 훈령이 미녀와 악자로 둔갑에서는 혼령을 달래기 위해 현재의 본당도 관음당도 그(市房神社)와 쇼젠편(生善院)이

天正十年(1582年)、由于被謀反的消息，宗昌逃往日向，但留在寺內的法印的母亲玖月善女帶著愛貓玉垂來到市房神社為怨靈詛咒相良藩，然後便在藩發生了各種詭譎的事。相良藩的主堂和觀音堂亦為當時所建。傳說當時前往，因此怨靈逐漸不再作祟。

天正十年(1582年)，由於被謀反的消息，宗昌逃往日向，但留在寺內的法印的母親玖月善女帶著愛貓玉垂來到市房神社為怨靈詛咒相良藩，然後便在藩發生了各種詭譎的事。相良藩的主堂和觀音堂亦為當時所建。傳說當時前往，因此怨靈逐漸不再作祟。

通称「猫寺」と呼ばれ、狛犬ならぬ「狛猫」が…



右手から見たところ

 [video](#)



「国指定重要文化財 生善院観音堂」と刻まれた標柱



右側面を見たところ



その右手から見たところ





その右手に別の説明板があった



生善院は、謀反の疑いにより非業の死をとげた普門寺盛誉と、その後を追って死んだその母玖月善女を祀るために、寛永2年（1625）に人吉藩主相良長毎によって創建された。この玖月善女の愛猫伝説から「猫寺」とも呼ばれている。堂内の須弥壇や厨子も当時のもの。

生善院観音堂は、堂内の金箔や極彩色の厨子や須弥壇、あるいは堂の内外を漆塗りとした靈屋的な意匠を持つ点に特徴がある。保存状態もよく、豪華な造りで、球磨地方の江戸時代前期の代表的建造物として価値は高い。

前面の棧唐戸と極彩色の虹梁や幕股など

 [video](#)



いやはや、凄いですな！



組物は出組/中備えは蟇股/軒支輪が付く



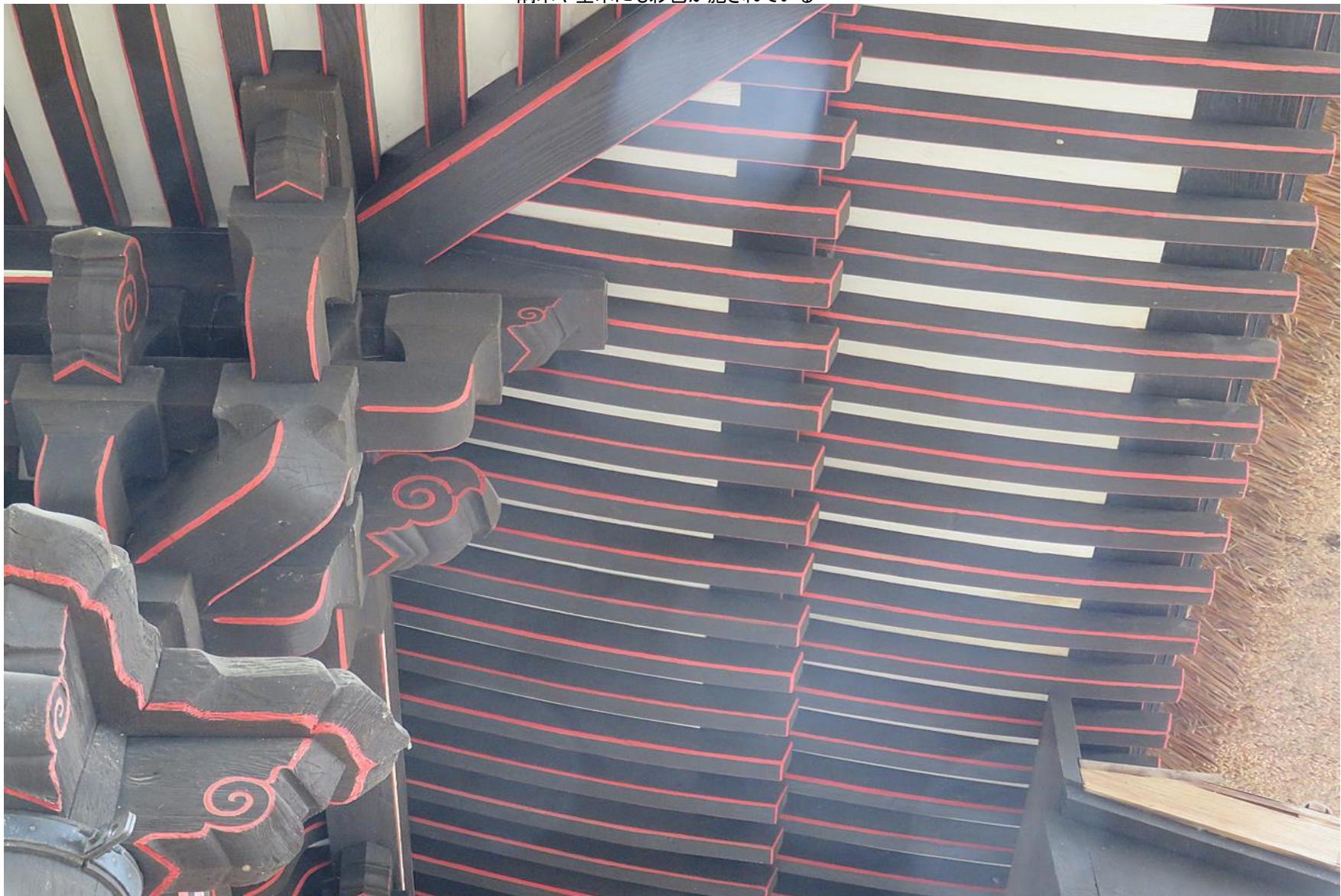
長押の上には格狭間/その上の小壁には植物をモチーフにした絵柄



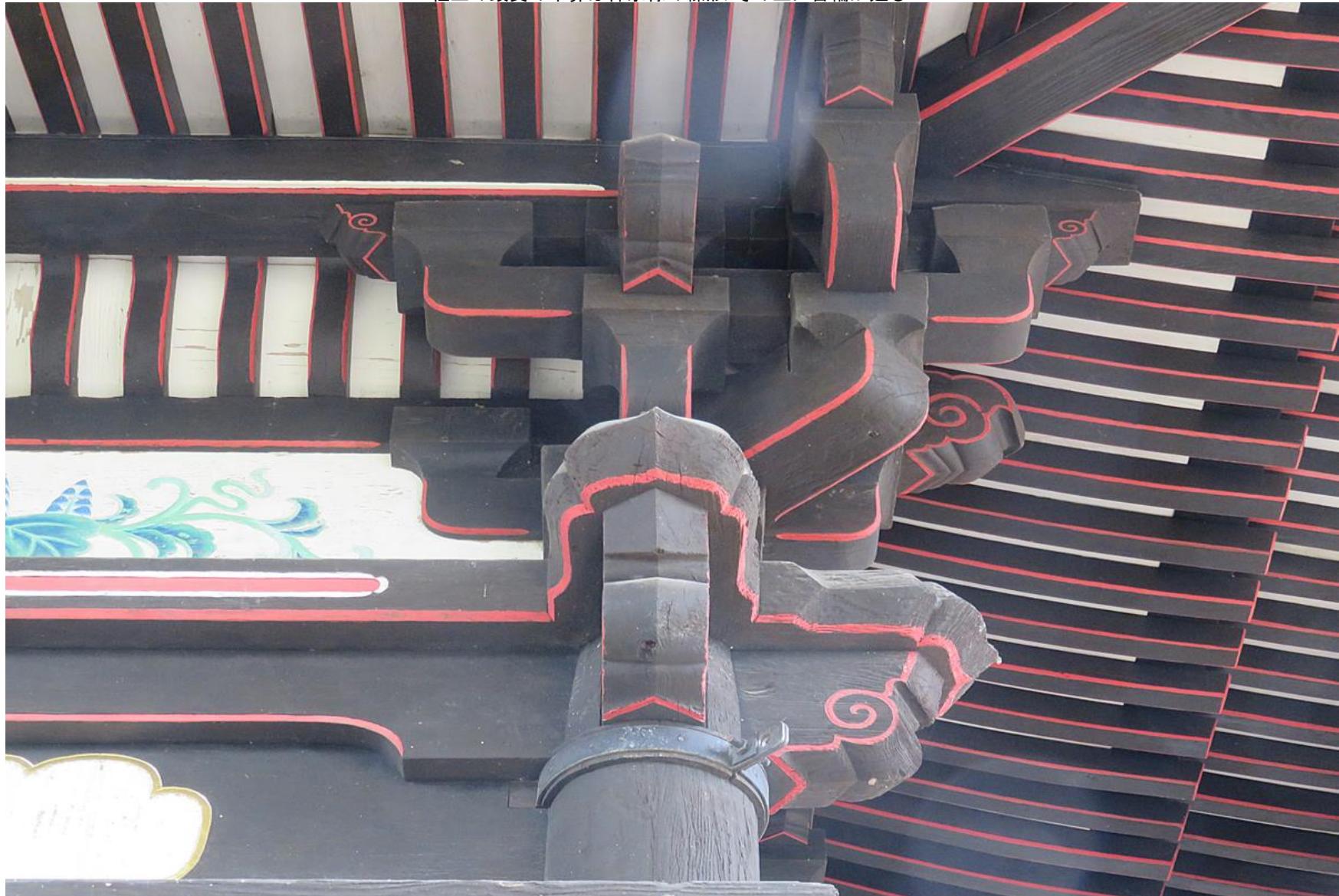
 video



隅木や垂木にも彩色が施されている



柱上の頭貫の木鼻は禅宗様の繰形/その上に台輪が廻る





組物は出組/軒支輪が付く



格狭間と、小壁の植物をモチーフにした絵柄



向拝を右手から見たところ



彩色が施された海老虹梁



向拵柱と海老虹梁の取り合い部



境内には「水上村指定天然記念物 ウスギキンモクセイ」が自生していた



